

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、2.61台半ばの高値近辺で取引が始まると、今週より開始されるスワップロールオーバーの増額対応もあり、2.58台前半まで一時急落（中銀がスポット市場において介入を行った場合の影響について、民間銀行にヒアリングを実施したとの噂も影響した模様）。しかし、新財務相人事を巡る不透明感が依然として相場の重石となっていることから、引けにかけては2.60台後半まで反発。ルセフ大統領は週末に開催されたG20以降に任命を行うと見られているが、現時点でアナウンスはされていない。市場はMeirelles氏を最有力候補として見做しているが、一部ではトンビニ現中銀総裁の就任を予想する声も聞かれるなど（この場合、相場はネガティブに反応すると見込まれる）、引き続きその動向には注目する必要がある。なお、退任が決まっているマンテガ現財務相については7月15日に正式に設立が合意されたBRICS開発銀行総裁への就任が取り沙汰されている。本銀行は、先進国が世界通貨基金（IMF）や世界銀行で支配的地位を維持している現状を打破することを目的に設立の議論が進められてきた。ボベスパ株式指数は前日比1%安。汚職事件に絡む捜査が続いているペトロブラス株の下げが全体を主導した。

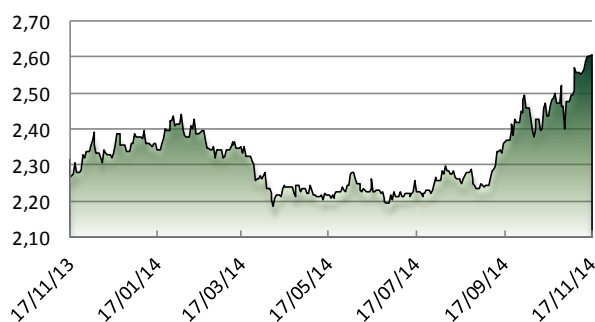
昨日中銀が公表した9月経済活動指数は前月比0.4%の上昇。この結果、第3四半期の経済活動指数も前期比0.6%の上昇となり、28日に予定されている注目の第3四半期GDPがプラス成長に転じる可能性が一部で指摘されている（但し、経済活動指数とGDPが乖離するケースが過去数度散見されており、ブラジル経済が景気後退局面から脱却するかどうかの判断を行うのは早計であろう）。また、同じく中銀より公表された週次サーベイにおいても、年末の成長率見通しが0.20%から0.21%へ僅かながら上昇した（2015年Selic見通し:12%、ドルレアル見通し:2014年-2.53、2015年-2.61）。足許のファンダメンタルズに改善が見られるかどうか、引き続き数字を注視していく必要がある。

マーケットデータ

Indicator	Unit	11月14日	11月17日	前日比	10月17日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	44,69	44,71	+0,02	43,89	+0,82
USD / BRL Spot	BRL	2,6016	2,6089	+0,0073	2,4354	+0,1735
USD / JPY Spot	JPY	116,29	116,65	+0,36	106,88	+9,77
Bovespa（ブラジル株価指数）	Index	51.772	51.257	-515	55.724	-4.467
CDS Brazil 5yrs（クレディットデフォルトスワップ）	bps	182,3	186,0	+3,7	158,0	+28,0
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,93	13,02	+0,09	11,46	+1,56
DI Future Jan16（金利先物）	%	12,53	12,56	+0,03	11,94	+0,62
3 Months US Dollar Libor	%	0,232	0,232	+0,000	0,231	+0,001
CRB Index（国際商品指数）	Index	266,8	267,4	+0,6	272,6	-5,2

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

